

2025（令和7）年度 長崎国際大学

人間社会学部 健康管理学部 入学試験問題

一般選抜A日程（2/4）

小論文

（60分）

注意事項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙には次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入しなさい。

① 受験番号欄

正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

- 3 問題用紙にある下書き欄は適宜利用してよいが、切り離してはいけません。
- 4 試験終了後、問題用紙および解答用紙は机上に残しておきなさい。
- 5 解答にあたっては、下記の点に注意すること。

① 設問は2問となっている。それぞれの解答欄に記入すること。

② 問題冊子内の下書き欄は自由に使用してよい。

③ 書き出しは1マス空けることとし、句読点も1マス使うこと。

ただし、英数字は1マスに2文字入れてもよい。

問題 デジタル社会における日本の現状と課題に関する次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。なお、解答は記述式解答用紙に記入しなさい。

日本政府は、デジタル社会のビジョンとして「さまざまな分野にデジタル技術を活かし、デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことで、多様な幸せが実現できる社会」を掲げている。しかし、現実にはデジタル人材の供給不足と企業における組織作りが追いついておらず、日本は世界のデジタル化競争において遅れをとっている。その他の要因としては、一部の「デジタルデバイド」と言われる人がデジタル化に対して抵抗感を持ち、「よくわからない」の一言で終わらせる傾向があることと、情報漏洩等に不安感を持つ人がいることなどが遅れの原因と考えられている。

現在の日本は生産年齢人口の減少傾向にあり、企業においては人材不足を克服する手段の一つとして業務のデジタル化の推進は不可欠である。日本政府は、デジタル社会の重点化へ向けて令和 5 年 6 月に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を閣議決定した。その内容は、誰一人取り残されることなく、多様な幸せが実現できる社会を実現するための施策を工程表とともに明示し、日本が抱える環境、資源、労働、教育などの社会問題を解決していくことを目指している。

問 1 日本社会におけるデジタル化の遅れの要因と解決策について、400 字以内で述べなさい。(50 点)

問 2 あなたが理想とするデジタル社会の実現に必要なと思われる施策について、具体的な事例をあげて 400 字以内で述べなさい。(50 点)

